

日野第三小学校 「教室でタブレットPCを活用」



日野第三小学校は、昨年の秋、タブレットPCと児童用校内無線LANが整備されました。

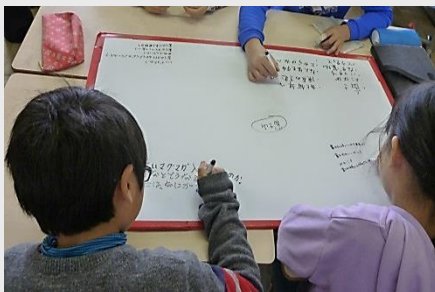
5年生担任の窪内直人先生は、さっそく教室で調べ学習にタブレットPCを活用されているのですが、もともと活用しているアナログツールとICT機器を組み合わせることで、先生の目指す授業に近づけるべく、さらなる活用方法を探られています。ある日の授業の様子をご紹介します。

世界遺産について調べて発表しよう

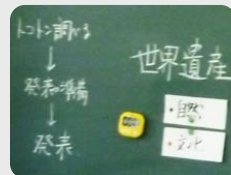
日本にある世界遺産で知っているところを言ってみて！



1 日本の世界遺産で知っているところをあげていく。



2 各グループでどの世界遺産を調べたいかを相談し、具体的にどのようなことを調べたいか、**ホワイトボードの四隅**にそれぞれ書いていく。



グループに1枚、**ホワイトボード**を配るのが、窪内先生の授業スタイル



3 グループに1台ずつタブレットPCが配られ、調べ始める。調べたこともそれぞれホワイトボードに書いていく。



4 ホワイトボードを見ながら、調べた内容やまとめ方、発表の仕方などについて先生からアドバイスを受ける。

窪内直人先生より ～ 主体的・対話的で深い学びを目指すために ～

教室にタブレットPCを持ってきて活用できるようになり、授業の幅が広がりました。PC教室を他のクラスが使っている時間でも、5台くらいだったら持ち出せることが多く、1グループに1台ずつ調べ学習などで利用できます。

私は、主体的・対話的で深い学びを目指すために、それを生み出す環境整備に気を付けています。社会の中でも「共有デスク」を採用している企業が増えている、ということがあり、私はグループ活動のときには各グループに「ホワイトボード」を配ります。そして、その上で1人一人の考えや意見、調べたことなどをグループの中で共有化し、ブレインストーミングをしたり、まとめたりさせています。グループごとに調べたことをまとめて発表するような学習では、インターネットの活用によって調べる時間が節約できると、その先の「主体的・対話的で深い学び」に近づける作業に時間がかけられてとても助かります。

「各グループのホワイトボードの内容は、今まであまり残していなかったけれども、今後はタブレットPCでこまめに撮影し、記録として残したり、その後の指導や学習に生かしていきたい。」と窪内先生は言われていました。

これからも、さまざまなツールが柔軟に生かされた授業がとても楽しみです！

